

大工激減時代、木造建築・住宅をつくる人のための新媒体

プレカットUSER

PRECUT USER

規制緩和で成長する新市場

～注目を集める大規模木造・非住宅分野～

【巻頭グラビア】 SE 構法本来のポテンシャルを最大限に

【トップ企業に聞く】 木造住宅用流通建材を用いた
大規模木造・非住宅分野への挑戦

【連載誌上セミナー】 木造住宅・逆さ引き「構造基本講座」
～木造住宅の地盤判定～

【連載講座】 プレカットを正しく使うためのポイント
～安全な架構のための問題と構造安全性～

第 3 号

2013/vol.3

SE構法本来のポテンシャルを最大限に

建築家への構造計算サービスを強化 非住宅市場へ本格参入

建築家へのサポート強化

全棟構造計算書付きのSE構法を独立系住宅ビルダー、工務店による全国のSE構法登録施工店を通じて供給する(株)エヌ・シー・エヌ（本社・東京都港区赤坂4-8-14、田鎖郁男社長）は大規模木造建築物、非住宅建築分野での市場拡大に対応して建築家向けのサポートを強化するため、2013年6月21日付で新会社の(株)エヌ・ディ・エヌ（本社同じ、中野聡社長）を設立した。全国的な建築家ネットワークを通じてSE構法の普及・拡大を図る。

SE構法はコンピュータ制御で高精度プレカット加工する構造用集成材を軸組部分に採用するとともに接合部に独自開発の接合金物を使用し圧倒的な構造強度を実現して大空間や大開口を可能にした住宅構法。（一財）日本建築センターの構造評定を取得し、また、物件ごとにCADと連動した立体応力解析を行っているのが特徴。講習を受け試験に合格した登録施工店（2013年3月時点で全国）486社が施工し、創業（1996年12月）から全棟構造計算・全棟性能保証を実施し、



石膏ボード2重貼りの耐火被覆（耐火構造建築）



17年間で延べ1万3,195棟（2013年3月末）を供給してきた。2012年12月からは新たなCI「耐震構法SE構法」を導入し、大都市部での普及拡大を図っている。

新会社のエヌ・ディ・エヌ（以下、NDN）は2008年からエヌ・シー・エヌ（以下、NCN）内で建築家ネットワーク事業部（NDN事業部）として建築家向けにSE構法の構造計算等のサポートを行ってきた。公共建築物等木材利用促進法（公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律、2010年10月施行）、エコまち法（都市の低炭素化の促進に関する法律、2012年12月施行）などで規制緩和が進み、木造一般建築物市場の拡大が期待される中、NDN事業部は大規模建築物および非住宅建築物に関するサポート事業を展開し、登録建築家は2013年3月時点で全国950社となっている。今回、NDN事業部を分社化したのはNCNで展開する工務店ネットワークに対するサービスと、NDNが展開する建築家ネットワークへのサービスが異なる建築販売チャネルによるサービスの形態が全く違うことから、今後、さらに建築家への付加価値サービスを提供することを目的としたものの。

木造住宅用流通建材を活用した 大規模木造・非住宅分野への挑戦

多能工をいかに育てるかがポイント

株式会社ヤマムラ

プレカットユーザーは大規模木造・非住宅分野で多くの建築実績を持つ(株)ヤマムラ（本社・山形県新庄市大字福田 711-6）・中村忍社長にインタビューして関連分野でのコスト管理や工程管理について聞いた。企画開発室・立神義春室長が同席した。

—— 戸建住宅にこだわらず、木造建築のさまざまな分野に挑戦してビジネスを拡大しているとのこと。

中村 元々は多能工などの育成が目的で、山形の製材所で加工した材を使い、茨城・千葉エリアで在来工法の木造アパートを年間100戸くらい建設していました。山形で製材した構造材を大工60人くらいの施工部隊で工事していた。アパート建設で蓄積したノウ

ハウを発揮したのが外食産業の店舗建築です。大手チェーンが始めた中華レストランの第一号店を施工したのが最初です。20年くらい前になりますか。当時の商業店舗は鉄骨造が標準（工法）だった。ついで和食チェーンの店舗も手がけるようになったのですが、専門の大工をあまり使わずに、建て方から屋根、外壁まで自社の多能工で施工しました。

—— 店舗なども在来工法で。



中村社長

中村 在来工法や特殊な例として、OSBのストレススキンパネルをカナダから輸入したり、北海道で組んだトラスを使ったりで、パネル工法に近かった物件もあります。



介護付有料老人ホームときわ苑
（千葉県松戸市）
3987.60㎡、耐火構造

